

なかしゅんべつ



中春別小学校低学年、親子レクリエーション「バター作り」が11月10日(金)小学校体育館にて開催され、当農協青年部は、バター作りの講師として参加をしました。

児童たちは、楽しみながらも真剣に取り組みました。



12月号

2017 Vol. 479

本年度の役員視察研修を10月10日から13日の日程で、関東方面において実施いたしました。茨城県にある生乳出荷量日本一を誇る「(有)瑞穂農場」と、当JAと担い手育成の連携協定を結んでいる「鯉淵学園農業栄養専門学校」、また、同じく協定を結んでいる東京都内の「滋慶学園 東京コミュニケーションアート専門学校」を訪問して参りましたので、その一端をご報告いたします。

各視察先とも好意的で、 新規就農にも理解をしめす

**(有)瑞穂農場本社
全国肉用牛枝肉共励会で
最優秀賞を受賞**

10月11日、(有)瑞穂農場本社を視察いたしました。当農場では、通常、視察の受け入れは行っていないというものでしたが、今回は特に酪農の街である別海町からということと特別に対応していただき、宇宿場長から説明を受けました。本社の他に、分場が4カ所、支店が3カ所、農場1カ所が関東・東北・北海道に点在しており、平成29年6月期において、酪農部門では、6572頭を飼養し生乳5

万8099トンを出荷、肉牛部門では、8797頭を飼養し2695頭を出荷しているギガファームであります。肉牛は和牛や交雑種の肥育を行い、全国肉用牛枝肉共励会で最優秀賞を受賞されておられ、瑞穂牛ブランドとして扱われています。



(有)瑞穂農場本社にて生乳の流通などに意見交換がありました

場内では乳牛1800頭を



手際良く搾乳作業が行われる



畜舎には壁がなく建築コストも北海道との違いを感じる(有)瑞穂農場にて

リーバーンで飼養され、経産牛1400頭はロータリーパーラーにより7人体制で、手際よく搾乳作業が行われていました。育成牛はいったん、北海道に送り、和牛受精卵を移植し孕みになってから戻ってくるシステムになっていま

た。畜舎は壁がなくフリーバーンであり、建築コスト面で北海道との違いを感じました。また、場内視察の後、指定団体制度など生乳の流通について意見交換もとなりました。



鯉淵学園農業栄養専門学校にて



鯉淵学園農業栄養専門学校の牛舎で

**鯉淵学園農業栄養専門学校
体験実習予定の学生、
新規就農者を送り出したい**

次に鯉淵学園農業栄養専門学校に移り、長谷川教授、大熊准教授よりアグリビジネス科、食品栄養科などの説明をいただき、その後、農場研修施設を案内していただきました。敷地面積は50haで、いろいろな畑作物や乳牛の餌となるデン

トコーンなどが栽培されていました。酪農に関しては瑞穂農場が畜産クラスター関連事業で3億円かけて、50ポイントのロータリーパーラーやフリーバーン畜舎を建設し、更に3億円かけてオーストラリアより乳牛1000頭導入し生産体制を整えており、鯉淵学園としても、学生の研修の場としてお互い連携しているとのことです。フリーバー

ンの敷料として戻し堆肥を活用しており、市街地に近いことから臭気対策にも

取り組んでいました。また、つなぎ牛舎も見ることができ、共進会に出品している乳牛が繋がれていました。ちょうど学生達が牛の世話をしているところで、当JAに体験実習予定の学生を紹介していただきました。長谷川教授から当JAに新規就農者を送り出すために、なんとか頑張っていたという力強い話をいただきました。

**ヘルパー・サポート、
新規就農の人材育成を
東京コミュニケーション
アート専門学校**

引き続き、東京の東京コミュニケーションアート専門

学校を訪問しました。当JAヘルパー・サポートの職員として7人を送り出している実績のある学校です。江口副校長から、動物・海洋・ペット



東京コミュニケーションアート専門学校の概要の説明に耳を傾ける

の業界と連携してカリキュラムを実践しており、教育方針として「本校は動物を勉強する学校ではなく、動物を通して仕事を学ぶための学校です」との説明を受けました。その後、犬、小鳥、亀など珍しい動物などの飼育している状況など校内を案内していただきました。

両校とも、ヘルパー・サポート、新規就農の人材育成とこれからの連携を密にしていこうとお互いに確認し合いました。

10月12日、千葉市の幕張メッセにて農業ワールド2017が開催されており、そこでは農業分野アジア最大

の800社が出展されておりました。全部を見ることはできませんでしたが、肥料・土・6次産業化施設・施設園芸資材・農機・ドローン・畜産資材などの出展者と来場者として商談が行われており、ドローンの農業散布システムや圃場管理システムなどが人気を集めていました。

最後に、今回の視察研修にあたり、訪問先の方々には、ご多忙にもかかわらず丁寧に対応してくださりましたこと、心よりお礼申し上げます。報告といたします。



東京コミュニケーションアート専門学校にて

バター作りの講師に 青年部が二役買いました



学級レク「バター作り」

青年部では中春別小学校で行われました小学校1、2年生の合同親子レクリエーションへ、バター作りの講師として11月10日(金)参加させていただきました。

今回、小学校の父母会からレクリエーションの講師として青年部に来ていただき、

きたいとお願いがあり、青年部として初めての取り組みとなりました。始まる前



バター作りの講師として児童たちに説明する青年部員

は青年部員、児童とお互いに緊張気味の様子でした。開始の時間となり、青年部の他にJ A中春別オフィシャルマスコットキャラクターの「モーちゃん」が体育館へ入場し、モーちゃんと対面した児童たちは大喜びの様子でした。

青年部が児童の前でバター作りをお手本としてレ



参加者全員で給食のパンに手作りバターをつけていただきました

クチャーをしました。途中に牛乳や牛についてなど、酪農に関するクイズを出題すると緊張もほぐれたのか大きな声で「わかったー!」と、たくさんの児童たちが手をあげました。バターは牛乳と生クリームを混ぜ合わせ、ペットボトルに移し、良く振ることで作られます。お手本としての、勢いよく振るモーちゃんの動きに、児童たちから拍手や声援が送られました。

レクチャーも終わり、各テーブルに分かれバター作りが始まりました。各テーブルそれぞれには青年部員がサポート役としてつきま



「ミルクランドグッズ」のプレゼントに笑顔で応える児童たち

した。上手く固まり、バターが完成して「やったー、できたよ!」と喜ぶ声もある中、上手く固まらず苦戦している児童には、青年部員が優しくアドバイスをし、サポートしました。

バターを作り終え、お昼の給食の時間に参加者全員で食事をとりました。給食には、パンもあつて、早速、自分たちで作ったバターをつけて食べる児童たちから、「おいしい!」という声や、達成感と喜びの表情が見られました。

給食を食べ終え、後片付けをした後、ファイルやシールなどが入った「ミルクランドグッズ」がプレゼントされました。笑顔で終了しました。参加された皆様、お疲れさまでした。



根室地区
JA青年部
大会

MOVING IT

眼前の困難を乗り越える

「MOVING IT ～眼前の困難を乗り越える～」と題した根室地区JA青年部大会が11月1日(水)ウエディングプラザ寿宴にて開催され、地区内の盟友が一同に集いました。



根室地区青協の乾会長より挨拶があり、大会が始まりました。
最初にJA中標津による「くも祭り」に情熱を懸けた男たち」と題した活動実績発表が行われました。
次に休憩を挟み、JA道青協顧問の黒田栄継氏（JAめむる青年部）を招き「ポリシーブックの作成・

活用方法と青年部活動について」と題して講演会が行われ、講演会後には、同講演内容をもとにパネルディスカッションが行われ、パネリストに黒田栄継氏、道青協副会長の安達永補氏、地区青協顧問の久保拓伸氏、進行役に地区青協副会長の小杉氏。ポリシーブックの意義、取り組み、作成と今後についてなど、自分たちの目的を実現させるためにも必要不可欠であることを改めて認識することができる、有意義な講演・パネルディスカッションとなり、青年部員の刺激になる貴重なお話をいただきました。

第1試合、惜敗した アームレスリング大会

地区対抗のアームレスリング大会では、それぞれの地区から青年部員5人が集まり、大会直前の抽選会からシード権の行方が誰になるかと、会場は緊迫した雰囲気になりました。
当地区のアームレスリン



グ代表で佐々木淳司さんが出場しました。佐々木淳司さんは第1試合目となり、出場選手達を始め会場全体が注目する中、対戦相手の標津地区の桜井将敦さんと組み合い、間合いを取った後、レフリーの掛け声とともに試合は開始。数秒間はほぼスタート位置でこう着状態となり、どちらに勝敗がつくか分からない勝負となりましたが、惜しくも敗れてしまいました。今回、代表として出場していた佐々木淳司さん大変お疲れさまでした。

地域の担い手は地域でつくる

JA北海道大会実践フォーラム



11月21日(火)に札幌市教育文化会館でJA北海道大会実践フォーラムが開催され、中春別農協青年部部長野矢貴志さんが出席しました。

中央会飛田会長の挨拶により開会となりました。パネルディスカッション①では、「協同の力で実現する新規担い手の倍増に向けて」と題して、JAけねべつ中瀬満参事による実践事例発表があり、同内容を元に行われました。発表後、パネリスト・コーディネーターによる対談が行われ、学校やファ-



ムステイなどを通じた若い人への農業の伝え方、事業などを活用した新規の人々への支援など、「地域の担い手は地域でつくる」といった地域一丸となつて、農業の活性化に向けるということが内



容としてあげられました。パネルディスカッション②では、「道民と食と農でつながるサポーター1550万人づくりと准組合員制度について」と題して、JAひがしかわ宮崎参事、北海道生協山口副会長による実践事例発表があり、同内容を元に行われました。550万人のサポーターづくりに向けて、広報誌やSNSを活用し准組合員やたくさんの方々にもわかるように、北海道農業について情報を発信するなど、農業に関わりを持つきっかけをつくること、消費者との出会いの場を増やすなどが内容としてあげられていました。

最後に中央会小野寺副会長の挨拶があり、閉会となりました。

今年度を締める行事、待ち望んだ「お楽しみ会」

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、11月21日(火)に毎年お世話になっている中標津町のマルエー温泉俵橋にて、45人の参加のもとお楽しみ会を開催しました。

今年度は雪が早く当日は足元が悪いなかでありましたが、欠席者なく皆集まりました。

金友の会 お楽しみ会



食事会が始まるとお酒やジュースを片手に席を立ち久々に会う仲間と

談笑をし、お寿司や鍋料理に皆さん箸が進みました。

余興ではカラオケとビンゴゲームを行いました。カラオケは皆さん自慢の歌声を披露され、会場を盛り上げていただきました。ビンゴゲームでは上位に豪華景品が当たり、また、参加者全員にも景品が当たったため最後まで会場が盛り上がりました。

短い時間でしたが、初めて参加した方や久しぶりに参加された方もいて、会員の皆さん十分楽しまれたのではないのでしょうか。

今年度の中春別農協年金友の会の行事はすべて終了しましたが、来年度に向けてスポーツ交流会やお楽しみ会、旅行などの行事に参加いただけますよ。これから日ごと寒さが厳しくなつていきますので体調を崩さずに、新しい仲間を集って今以上に活発な年金友の会の活動にしていきたいと思います。

消化液牧草試験について

消化液の効果的な活用に向けて

○消化液利活用に向けて

○消化液とスラリー、慣行肥料と消化液向け試験肥料の比較試験（C牧場での試験）

消化液（バイオガスプラントで算出される、乳牛ふん尿などの原料からのメタン発酵処理液）については、これからのように利用していったら良いか、という声があり、今後の普及のためにも、今年度春から今まで、消化液利用組合、普及センター、別海バイオガス発電、ホクレン、JAGが協力して牧草地6カ所において試験を行ってきました。

試験を行ったC牧場のほ場は更新後3年目、チモシー主体、マメ科草アル

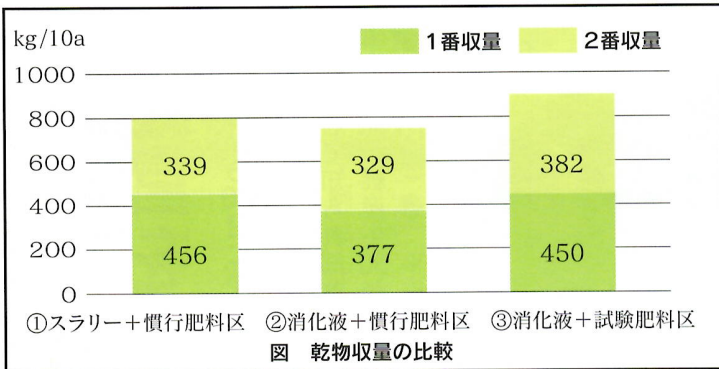


表 各区1番2番草の主な粗飼料分析値(乾物中数値)

| | | ①スラリー+慣行肥料区 | ②消化液+慣行肥料区 | ③消化液+試験肥料区 |
|-----|---|----------------------|---|----------------------|
| | | 1番草 | TDN (%) 63.3 CP (%) 12.2 K (%) 2.55 | 63.8 13.1 2.74 |
| 2番草 | TDN (%) 60.1 CP (%) 13.1 K (%) 1.85 | 60.4 10.1 1.98 | 58.9 11.1 2.41 | |

注) 硝酸態窒素は全て「0.01」で問題の無い数値

ファルファの割合も高く、良好な牧草地です。ここでは①スラリーと慣行肥料を組み合わせた区、②消化液と慣行肥料を組み合わせた区、③消化液と試験肥料を組み合わせた区、の3つの区を設置し、1番草、2番草それぞれの牧草収量(坪刈り調査)と飼料分析値を比較検討しました。

各区では前年秋にスラリー、または消化液を2t/10a、今年春には慣行肥料、または試験肥料を40kg/10a、1番草収穫後にはスラリー、または消化液を2・5t/10a散布しています。

ここで「試験肥料」とは消化液利用者向けに窒素、カリの成分量をそれぞれ7%、4%と低めにした上に、近年牧草土壌中のリン酸過剰傾向から、リン酸成分量も7%と低めに調整したものです。

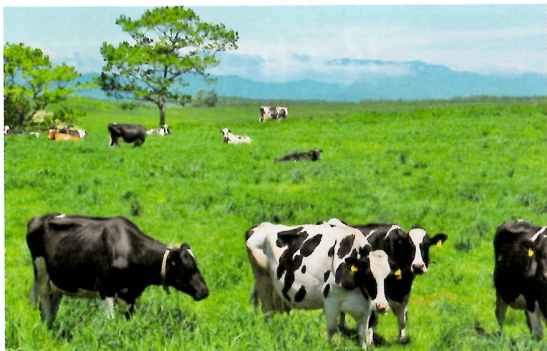
○消化液の利点を理解して利活用を進めましょう

収量グラフ図、分析値表を見ると、慣行である①区と比べ、収量では②区がやや劣るよう見えますが、③区では合計収量は①区を上回り、分析値には大きな違いは見られません。

このように消化液とそれに合った肥料と組み合わせることで、慣行の肥料体系と遜色のない収量・成分品質の牧草が得られる事がわかりました。

ここで紹介した試験結果の他にも、消化液散布の利点として、・牧草への液付着量・大腸菌数が少ないこと(春散布してもサイレージ発酵品質に悪影響を与えにくいと考えられます)・雑草種子は死滅していることなどが、これまでに別の調査・研究からわかっています。

今後はこれらの消化液の利点も生かしつつ、良質粗飼料づくりに役立ててほしいと思っています。



多くの学びと刺激を受け、 より良い牧場経営を目指したい

中春別乳牛改良同志会では、10月24日から26日にかけて、乳牛改良技術などの研鑽と向上を目指すため視察研修を開催しました。

高品質の粗飼料をあたえる ㈱柏葉牧場を視察

1日目は、平成26年に中春別乳牛共進会の審査員を務めていただいた柏葉俊さんが経営する、津別町の㈱柏葉牧場を視察させていただきました。



㈱柏葉牧場にて



飼養管理など理解を深めました

7の冠名で知られ飼養頭数120頭（経産牛50頭、未經産牛70頭）で、平均乳

量は9000kgとのことです。牛舎内は麦稈がふんだんに使用されており、牛体

もとても清潔に保たれて、1頭1頭しっかり管理されていると感じました。

津別町は、畑作農家が大半を占めており酪農家が少なく、地形は起伏が激しく耕作地も飛び地が多いとのことでしたが、それを感じさせない高い品質の粗飼料に驚きました。親牛はもちろんのこと、小さい月齢の牛も素晴らしい肋の開張をしていました。

最新の酪農機器を駆使する ㈱Kaim角山を視察

2日目午前中は、江別市の㈱Kaim角山を視察させていただきました。

㈱Kaim角山は、平成26年1月に近隣5戸が共同で設立し、平成27年8月より搾乳ロボット4台で牧場経営を開始し



8台の搾乳ロボットは圧巻でした

たこのことです。現在は搾乳ロボット8台を駆使し飼



㈱Kaim角山にて

養頭数は380頭で平均分娩間隔が420日です。

すべてが最新の機器で、ただただ驚きの連続でした。中でも最も印象に残ったのが、繁殖管理に使われていた、テラバル社のハードナビゲーターです。このハードナビゲーターによって、乳中プロジェステロン値から発情、妊娠、流産を判断し、BH B値から潜在性ケトシスの発見、LD H値から乳房炎などの乳房の健康状態を判断することができます。

また、近隣への配慮のため、バイオマスプラントも併設されていました。

素晴らしい牛群たち

八紘学園北海道農業専門学校を視察

2日目午後は、八紘学園北海道農業専門学校を視察させていただきました。八紘学園は飼養頭数60頭（経産牛45頭、未経産牛15頭）、平均乳量9800kgです。平均体型得点は驚異の85.5点で、これまでに37頭の



活発な意見交換ができました

エクセレント牛を輩出し、共進会においても優秀な成績を収めています。

牛舎に入ると、素晴らしい牛群に目を奪われました。乳牛改良は、体型に重

点を置き、長命連産する牛を作るために改良しているとのことでした。どの牛たちも乳用強健性に富み、乳房パワー、質ともに素晴らしいものがありました。

今回の視察では、ショウで上位に入賞する有名な牧場や、最新の酪農機械を駆使した大型経営を目の当たりにしたことで、多くの学びや刺激がありました。この経験を、自分の成長につなげ、より良

い牧場管理を目指していきます。

最後に、今回視察をさせていただいた(株)柏葉牧場、(株)Kaim角山、八紘学園の皆様にはご多用のところ対応していただきまして深くお礼申し上げます。



八紘学園北海道農業専門学校にて

第35回未経産クラス(16カ月~20カ月)

ホルスタイン写真コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田 潤会長)では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト(未経産)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈

呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。

3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、12月29日となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2018年2月号で発表致します。



I 乾乳牛編 ～ここでの管理が次乳期の乾物摂取量を左右する重要な期間!!～

乾乳期は、母子ともに健康な状態で分娩を迎えるための大切な準備期間です。

分娩前後は免疫力が低下しやすい時期でもあり、この時期の乾物摂取量低下は、周産期疾病発症の原因となります。乾乳牛は、胎児の急激な成長により第一胃が圧迫され、生理的に乾物摂取量が落ちやすくなりますが、環境ストレスにより、さらに乾物摂取量を落とすことがないように、1つ1つのストレスをできるだけ小さくする必要があります。

①自由に動ける、広さに余裕のある飼養場所の確保

できるだけ自由に動ける飼養形態をとりましょう。その場合、行き止まりの無いレイアウトとし、広さを確保することで競合によるストレスを避けましょう(表1)。

また、やむを得ず係留する場合は、以下の点に注意しましょう(表2)。

表1 フリーの飼養形態における広さの考え方

| 形態 | スペースの考え方・目安 |
|------------|-------------------------------------|
| フリーバーン | 休息スペースとしての広さ |
| 前期 | 10～12㎡/頭 |
| 後期(分娩前3週間) | 2～14㎡/頭 |
| フリーストール | ベッドの数と1頭あたりの飼槽幅を比べて、より少ない(せまい)方で考える |
| 前期 | 収容頭数以上にしない(飼槽幅:60cm/頭以上) |
| 後期(分娩前3週間) | 収容頭数の8割以下(飼槽幅:75cm/頭以上) |

表2 係留の場合の注意点

- ニューヨークタイストール等、自由度の高い係留方法を選択
- 尿溝にスノコを設置して牛床の長さを確保
- 搾乳牛の餌を食べないように、盗食防止の工夫が必要(写真1)
- 初妊牛と経産牛(強い牛)の競合に注意した並べ方
- 他の牛舎から移動する場合は、遅くとも2週間前まで

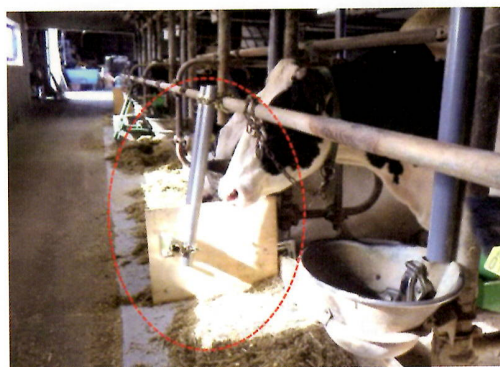


写真1 ニューヨークタイストールに自作の盗食防止板を設置

②寝起きが楽にできる、安心して歩ける環境

- ・牛床マットを利用し、滑らず、やわらかい寝床を用意しましょう(JA等の助成も有効利用!)(写真2)。
- ・乾いた敷料を、たっぷり入れましょう
- ・特に冬期間は、乾乳牛といえどもお腹を冷やさないことが大切です。
- ・土を踏ませることで蹄の休息になりますが、その際は、十分な面積の確保、排水、適度な掃除により凸凹やぬかるみを防止することが必須です。



写真2 牛床マットと敷料を敷いた乾乳牛舎(分娩房)





北海道をもっとも一つと

食べようランチパーティー

北海道産の「食材」を 美味しくいただきました

北海道米や牛乳・乳製品をはじめ道産・管内産の食材を使用した立食パーティーイベント「北海道をもっとも一つと食べようランチパーティー」が、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて11月23日(木)に開催されました。



牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介など地産地消と北海道の魅力を知ってもらうことを目的としたイベントも、今年で開催11年を迎えました。

開場の時間となり、たくさんの方々が入場する中、入口では各地区の着ぐるみたちがお出迎えすると、子どもたちが喜び記念撮影をしたりと大人気でした。

根室地区酪農対策協議会の今井和善会長からの乾杯の挨拶によりパーティーが始まりました。

北海道産の食材をもっとも一つと堪能しよう！

会場内では6種類の道産農畜産物を使った料理や、JA根室地区女性協が作るスイーツの試食、レシピの配布などが行われました。

また、中春別農協青年部（野矢貴志部長）では昨年より本数を増やし、なかしゆんミルクロールレギュラーサイズ20本、ハーフサイズ25本を販売したところ、販売開始後「あっ」と

いう間に完売してしまい、急遽ミルクロールを追加し、販売をするほどの盛況ぶりとなりました。

ステージ上では各ブースの紹介や、札幌よしもと芸人「つちふまズ」によるお笑いステージショーが行われ、パーティーも大盛況でした。

最後に道産食材など豪華商品が当るお楽しみ抽選会が行われ、北海道の味覚を堪能してもらえようような商品ばかり当たりました。

このイベントをきっかけに、より多くの方に北海道の魅力と安心・安全を知っていただけたらと願います。



●【経営科】農ク全国大会に出場しました

10月25日(水)、26日(木)に岡山県で日本学校農業クラブ全国大会が開催され、意見発表会では3年生の守屋美紅さん、農業鑑定競技では3年生の小笠原陽君と南澤茜さんが畜産コースに出場しました。大会結果は、3人とも入賞はなりませんでした。これまでの練習や学習で努力してきた成果は出し切れたとのことでした。大会式典では全国大会で最優秀賞を受賞した発表を参観し、各校の優れた実践を学習できたのは大変良い機会となりました。次年度は鹿児島県で同大会が開催されます。



大会式典会場にて

●【経営科】海外研修を実施しました

11月5日(日)から13日(月)の9日間、海外視察研修が行われ、3年生の小笠原陽君、森田岬君の2人が参加しました。本校では別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)と別海町のご支援のもと、3年前よりカナダの酪農視察を実施しております。研修ではロイヤルウインターフェアとケベック州の酪農場2戸、オンタリオ州の酪農場を視察しました。世界最高峰のウシ、先進的な農場は見応えが十分であるとともに、日本との大きな違いを実感させられるものとなりました。参加した2人とも将来、酪農に関する職業に就いた際にこの経験を活かしたいと話していました。



ショーの様子

●【経営科】全国農業高校収穫祭に参加

11月11日(土)、12日(日)に、大丸東京店で開催された全国農業高校収穫祭に参加し、本校産の野菜や、乳加工品を販売しました。本校からは3年の大森匠君、中川颯君が参加し、東京の百貨店での販売ということで緊張感を持って接客をしていました。他校の販売品を見たり、お客様の声を聞くことで参考となる部分が多くあり、実り多い学習の機会となりました。



販売の様子

●【専攻科】後期授業風景

11月は学生が参加する研修会もなく、家業の方も一段落ということで、落ち着いて平常の授業に取り組んでいます。今期の授業は、酪農に精通した4人の先生方が講師を務め、繁殖の基礎から応用までを学ぶ「乳牛繁殖学」、環境問題と畜産の関係を理解すると共に牛の糞尿を最大限に利用して肥料購入費削減につなげる方法を学ぶ「糞尿利用学」、帳簿簿記について学ぶ「酪農経営管理学」が展開されます。これに加えて2年目学生はいよいよ修了研究のまとめの時期。登校時間前からプレゼンテーションに改良を加えたり、担当教員と最後のデータ確認に取り組む姿が見られました。



酪農経営管理学の様子



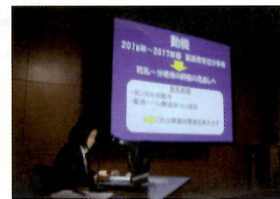
修了研究活動まとめの様子

●【専攻科】修了研究活動発表会

11月27日(月)に専攻科ゼミ室を会場にして「修了研究活動発表会」が行われました。これは、2年目学生が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組んだ成果を発表するものです。今年度は、「光合成細菌の制菌効果について」「分娩後のCa摂取量向上と周産期病の低減」「初乳が及ぼす影響～栄養価と疾病率」「乳房炎菌の同定による牛舎環境の改善～体細胞数の減少に向けて～」「我が家の労働環境と将来の経営について」と題して5つの発表がありました。それぞれ、育成牛舎内の臭気測定実験の結果の考察、周産期病予防と生産性の向上を目指しての取り組み、F1子牛への適切な初乳給与が成長に与える影響、自家の牛床の調査・分析、近い将来経営移譲された時の労働環境について牛舎新築も視野に入れてのシミュレーションの結果を発表しました。関係機関から足を運んでいただいた8人の先生方より「この研究を今後の経営に生かして欲しい」、「着眼点が良かった」、「今後もサポートしていく」との助言、講評をいただきました。お忙しい中お集まり下さった関係機関の方々にこの場をお借りして深くお礼申し上げます。



修了研究活動発表会の様子



修了研究活動発表会の様子

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【北大との連携協定を締結】

JAグループ北海道と北海道大学は、食と農を中心とする幅広い分野の科学技術・学術及び産業の振興、教育の発展を目的とした包括連携協定を締結しました。

農業・農村を取り巻く様々な課題に対応するべく、北海道大学と共に、先端技術を活用した

農業生産、道産農畜産物の価値創出、地域社会づくりや人材育成などの面で連携・協力関係を築きながら「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指します。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、家族や周囲の人へ伝えたいことを書き残す「エンディングノート」のセミナーを初開催しました。(10月・札幌市)

行政書士の山根氏が相続・遺言の仕組みなどを解説後「エンディングノートは遺言書を作る準備にもなる」とJAバンク版エンディングノート「いまから帳」の書き方を紹介し活用を呼びかけ、「大変参考になった」など、参加者に大好評いただきました。



ホクレン

北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2017第46回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。生産者の方の営農へのこだわりを消費者に知っていただくとともに、消費者の方々がどんなことを生産者に望んでいるかを知りあう場として、交流イベント「食と農のふれあい広場」を開催。JA道青協、JA道女性協の役員の皆様のご協力もあり、どのイベントも大盛況でした。



JA共済連北海道

10月より、地域貢献活動の一環

として組合員や地域住民の皆さまにJA共済のロゴ入り反射材付き帽子5万個を配布しています。夜間でも運転者が歩行者を視認しやすくなることを目的に全道JAを通じて順次配布し、交通事故未然防止と根絶を呼びかけます。

今後とも組合員や地域住民の皆さまが安心・安全に暮らせるよう、地域貢献活動に取組んでまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様

の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので是非一読ください。





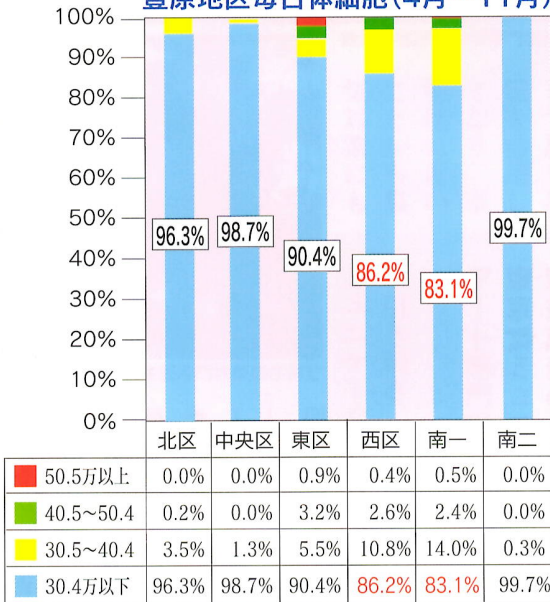
生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**.....JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**7**件です。
- **生菌による汚染事故**.....JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入、加水、血乳**による汚染事故..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。

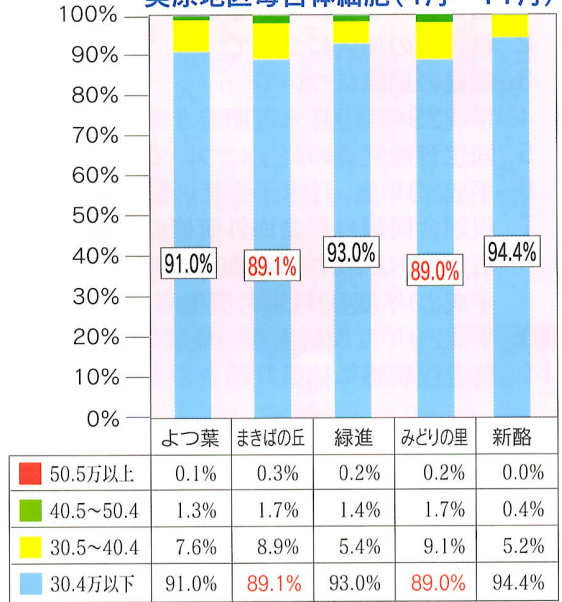
畜舎内の空気は良好ですか？ 適切な換気でいい空気を！！

良質生乳生産推進委員からの標語

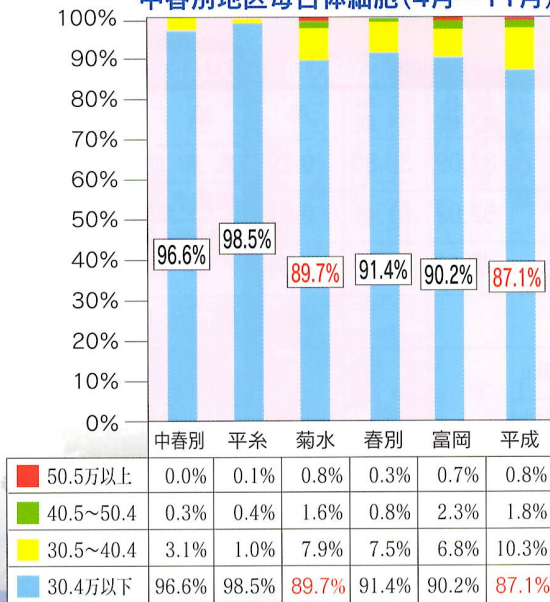
豊原地区毎日々体細胞(4月～11月)



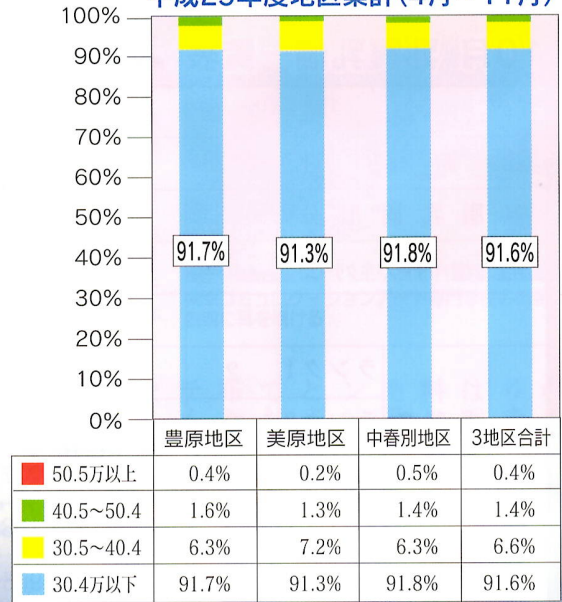
美原地区毎日々体細胞(4月～11月)



中春別地区毎日々体細胞(4月～11月)



平成29年度地区集計(4月～11月)



第9回 理事会の動き

平成29年11月27日(月)

議 案

1. 年末年始の業務日程について
2. 全酪連育成センター造成に係る固定資産の取得について
3. 平成29営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
4. 平成29営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更・認定について
5. 平成29営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
6. クミカン取引名義変更について
7. 組合員の法人設立に伴う取引開始について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 組合員の加入について
3. 職員の退職について
4. 平成29年度9月末定期監査報告について
5. 固定資産実査の終了について
6. 平成29年度9月末子会社の監査報告について
7. 根釧合同組合長会海外研修の参加について
8. 根室管内JA女性職員海外視察の参加について
9. 平成29年度10月末営農生産関連実績について
10. 平成29年度飼料生産型酪農経営支援事業について
11. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について
2. 平成30年度役員研修の実施について

10月 乳質乳価一覽表

(単位:円)

10月分乳代支払単価

| | | | 単 価 | 算 出 基 礎 | 支 払 価 | 前 年 期 | 差 | 項 目 | 単価(円)/(kg) % |
|-------------------|-------|------|---------|-----------------|--------|-------|------|---------------|--------------|
| 乳 脂 肪 分 | | | 928.384 | | 37.09 | 36.80 | 0.29 | 乳 脂 肪 分 ① | 37円09銭 |
| 無 脂 乳 固 形 分 | | | 588.835 | | 52.02 | 51.41 | 0.61 | 無 脂 乳 固 形 分 ② | 52円02銭 |
| 補給金(脱バ・チーズ・生クリーム) | | | 7.6194 | | 7.62 | 5.31 | 2.31 | 補給金③チーズ奨励金④ | 7円62銭 |
| 乳 質 単 価 | 生 菌 数 | ランク1 | 2 | 307,437,466.9kg | 3.73 | 3.72 | 0.01 | 脂 肪 率 全道 | 3.99% |
| | | ランク2 | 0 | 6,420,555.4kg | | | | 農 協 | 4.06% |
| | | ランク3 | -3 | 227,342.1kg | | | | 無 脂 固 全道 | 8.83% |
| | 体細胞数 | ランク1 | 2 | 272,108,882.2kg | | | | 形 分 率 農 協 | 8.80% |
| | | ランク2 | 1 | 21,956,090.8kg | | | | 成 分 乳 価 全道 | 96円73銭 |
| | | ランク3 | -2 | 4,427,458.9kg | | | | ①+②+③+④=⑤ 農 協 | 97円7銭 |
| 合 計 | | | | | 100.46 | 97.24 | 3.22 | 乳 質 乳 価 全道 | 3円73銭 |
| | | | | | | | | ⑥ 農 協 | 3円79銭 |
| | | | | | | | | 乳 代 合 計 全道 | 100円46銭 |
| | | | | | | | | 農 協 | 100円86銭 |
| | | | | | | | | ⑤+⑥ 差 異 | 0円40 |

平成29年度 年末・年始の業務日程表

休業

| 日程 区分 | 平成29年 | | 平成30年 | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|
| | 12/30(土) | 12/31(日) | 1/1(月) | 1/2(火) | 1/3(水) | 1/4(木) | 1/5(金) | 1/6(土) | 1/7(日) | 1/8(月) | 1/9(火) | |
| 事務所(除く信用) | 午前中のみ 業務 | | | | | | | | | | | 御 用 始 |
| 事務所信用窓口 | ATM午前中 のみ業務 | | | | | 平常業務 | 平常業務 | | | | | |
| Aコープ中春別 | 9時30分~15時 営業 | | | | 9時30分~15時 営業 | | 9時30分~15時 営業 | | | | | |
| 給油所 | 8時~17時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | | | 9時~15時 (給油のみ) | 9時~15時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | 8時~17時 (給油のみ) | 8時~17時 (給油のみ) | 8時~17時 (給油のみ) | |
| 倉庫 | 午前中のみ 営業 | | | | | 平常営業 | 平常営業 | 平常営業 | | | | 平常営業 |
| 訪問介護事業所 「あさひな」 | 平常業務 | | | | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | 御 用 始 |
| 人工授精 | 平常業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 平常業務 | 平常業務 | | |
| 生乳 | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--|--|--|--|--|-------------|-------------|--|--|--|-----|
| 備中春別マシンセンター | 午前中のみ 営業 | | | | | | 午前中のみ 営業 | 午前中のみ 営業 | | | | 御用始 |
|-------------|-------------|--|--|--|--|--|-------------|-------------|--|--|--|-----|

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務(携帯)090-9759-6449 土屋工場長(携帯)080-6086-3273

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|
| 備ジェイエーワン | 午前中のみ 営業 | | | | | | | | | | | 御用始 |
|----------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|

※作業依頼の連絡先 山田専務(携帯)090-8426-6465 片波見課長(携帯)090-8428-8462

| | | | | | | | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 備なかしゅんべつ未来牧場 共和育成センター 全酪連育成センター 酪農研修センター | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 御用始 |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|

ATMの稼働日について

| 日程 区分 | 平成29年 | | 平成30年 | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| | 12/30(土) | 12/31(日) | 1/1(月) | 1/2(火) | 1/3(水) | 1/4(木) | 1/5(金) | 1/6(土) | 1/7(日) | 1/8(月) | 1/9(火) | |
| 当JA ATM | 午前中のみ 稼働 | | | | | 平常稼働 | 平常稼働 | | | | | 平常稼働 |
| ゆうちょATM コンビニATM(セブン銀行等) | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | | | | | 平常稼働 |

※1月6日、7日、8日はJAバンクシステム更改のため休止となります。

- ◎販売関連業務
 - (1)初生トク集荷
 - 年内最終集荷12月29日
 - 年明集荷1月5日
 - (2)ホクレン市場
 - 最終開催日12月27日(初生のみ)
 - 年明開催日1月10日
- ◎牧場関連業務
 - 哺育・育成集荷
 - 年内最終集荷12月30日
 - 年明集荷1月5日

- ◎人工授精業務
 - 午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電北電……………0120-060-674
- (2)除雪(生乳集荷路線)……………平間課長宅0153-86-2130
- (3)給油……………(休日当番携帯)田中係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送……………別海貨物(篠田次長)090-1644-5307
- (5)生乳検査……………平間課長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査……………(緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障……………目黒担当090-1643-2915
- (8)その他……………山形課長宅70-4009、登部長宅75-0517

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- ◎休業 12月31日(12月31日~1月4日朝の業務)
- ◎業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始
- ◎緊急ヘルパー受付
 - ※農協休業日
 - 山下宮農振興係 携帯電話090-9753-7907

組合員の 広 場



阿部郁子さんの作品「クリスマスリーフ」



今月号の組合員の広場は阿部郁子さんの作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。